

とみや議会だより

第10号



▲毘沙門堂

平成30年 第4回定例会 議案審議 …P3～

一般質問 ……………P7～

よりよいまちづくりのために ……P16～
委員会活動

2019年(平成31年) 2月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622

ホームページ

富谷市議会

検索





あけまして

おめでとうございます



本年もよろしくお願ひ申し上げます



年頭のごあいさつ

あけましておめでとうございます。平成31年の新春を迎え、市民の皆様にご挨拶に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

市民の皆様には日頃より市政と議会活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年は、市制施行二周年を迎え若生裕俊市長の下、市民の皆様のご協力で公正・公平な、「住みたくなるまち日本一」を目指したまちづくりを積極的に展開し、市勢は発展の一途をたどっています。

少子高齢化と地方分権の進展に伴い、地方議会の責任と役割がますます重要になってきている今日、議会としましては、富谷市が持つ可能性を最大限に活かして市民の皆様との安心と安全を確保し、皆様との対話を根幹としながら、市民目線による、市民のための市政を展開し、次の世代により良いかたちで引き継いでいくことが最大の使命と考えます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、富谷市の益々の発展を期待し新年のご挨拶といたします。

富谷市議会議長

相澤 榮

平成30年
第4回定例会
議案審議

エアコン設置へ始動



平成30年第4回定例会は、12月4日から13日までの10日間の会期で開かれました。今定例会では、平成30年度一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算、水道事業会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、富谷市道路線の認定、和解及び損害賠償額の決定、教育委員の任命、各種条例の一部改正など議案18件、発議一件を慎重審議し全件原案のとおり可決しました。

また、一般質問は4日間にわたり、16人の議員が34件について市政を問い、活発な議論が繰り広げられました。

一般会計 補正予算

平成30年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに7億5303万円を追加し、歳入歳出予算の総額を137億4908万円とするものです。

歳出の主なものとして、市立幼稚園および、小・中学校ならびに日吉台公民館の合計339室へのエアコン整備、学校給食の栄養基準不足を改善するため、まかない材料費の予算を計上したものです。

また、杜乃橋二丁目町内会が設立されたことにより、町内会館整備に要する経費です。

そのほか、国民健康保険特別会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算など原案のとおり可決しました。

●● 主なつかいみち ●●

- 市立小学校空調設備整備事業
 - ・市立小学校8校のエアコン整備費です。 **4億3,329万円**
- 市立中学校空調設備整備事業
 - ・市立中学校5校のエアコン整備費です。 **2億8,987万円**
- 学校給食センター運営・維持管理事業
 - ・給食の栄養量不足を補うための事業費です。 **1,000万円**

- 問** 障がい福祉サービスが約4266万円増えた詳細は。
- 答** 利用者が昨年度比で、生活介護が約114%、グループホームが約110%、就労移行が210%、就労B型が140%と増加しています。
- 問** 農作物有害鳥獣等駆除事業でワイヤーメッシュ以外の補助は。
- 答** 鳥獣対策用電気柵等の購入助成があります。
- 問** 白石市では、有害鳥獣は箱わなでほとんど捕獲されています。箱わな設置の補助の検討は。
- 答** 7基の箱わなを保有しており、他の助成は考えていません。
- 問** 外部派遣した職員は大学院卒業後にどういうか。
- 答** 宮城大学への派遣は大学院生と合わせ、地域連携センターにも籍を置きます。テーマは本市の抱えている課題を2年間研修するので、成果は戻ってきてから活かせる」と認識しています。
- 問** エアコン設置における地方債に対する地方交付税の金額は。
- 答** 3000万円程度を見込んでいます。
- 問** 故障時の対応は。
- 答** センサーが感知し、故障箇所がわかるシステムが入ります。
- 問** エアコン整備は来夏までに間に合いますか。
- 答** いち早く実施設計を発注、年内に入札します。

特別会計

公営企業会計

国民健康保険

水道事業

問 国民健康保険被保険者数は。

答 現在、8500人ほどです。

問 特定検診の受診率は。

答 最終年度65%を見込んでいます。

問 被保険者数の減少が少ないのは。

答 前年度に比べ微減で特に、70代、65歳から74歳までの被保険者数が大きく変動していないことによりです。

問 来年度の受診率を65%と見込んでいますが。

答 平成30年度の受診率は、暫定ですが、63%強となっておりますので、来年度は65%を上限に設定しています。

問 利益剰余金がマイナス6600万円の赤字の処理は。

答 利益剰余金の中で繰り越します。

問 赤字補てんについて、今後決算の中で検討していくべきでは。

答 決算の段階で検討します。

問 貸借対照表で、固定資産が土地と揚水機だけが変わらず、全部資産額償却類型がそれぞれ大幅に違っている理由は。

答 解体や処分したにもかかわらず、台帳がそのままのため、システムの入力等が差額となったものです。

問 複式簿記を来年度の人事研修の中で速やかに対応すべきでは。

答 来年度対応できるか検討します。

富谷市敬老祝金等

支給条例の

一部改正について

敬老祝金の支給要件及び額について、事務事業見直しにより所要の改正を行います。

敬老祝金等の支給要件のうち「90歳(卒寿)及び99歳(白寿)」を、改正後は、「90歳(卒寿)」とし「99歳(白寿)」を廃止します。

この条例は、平成31年4月1日から施行します。

問 平成29年度と、平成30年度の対象者は。

答 平成29年度は、対象者が514人と100歳の人が見込みで対象者が、558人と100歳の人が見込みです。

問 95歳以上の人を市長が訪問する事業について、対象年齢の見直しや祝金の検討はありましたか。

答 95歳新到達者とし、祝金は検討中です。

問 敬老祝金の支給は今後対象者が増加の傾向にあり、予算の中で上限を設ける考えは。

答 今後の参考にします。

問 敬老祝金の改正に伴い、対象者の意見は届いていますか。

答 直接的に多い少ないという意見はありません。

今後の交付減も危惧

反対 藤原 峻 議員

長年、家族を支え、地域を支え、日本を支えてきてくれた高齢者の皆様へのお祝い金です。平成24年に引き続き、今回の

削減となります。寿命が伸びていること、本市以外の77〜100歳までの一人当たり支給額が他市に比べて多い状況ということも理解します。しかし、平成30年と平成31年を比較した試算では、一度に半額程度になります。条例には、敬老精神の高揚を図り、あわせて福祉の増進に寄与することを目的とする、とあります。今後も交付が少なくなると危惧し、反対します。

継続安定的な社会保障財源の確保

賛成 齊藤 秀行 議員

少子高齢化問題により生産年齢人口は減少し、医療の躍進により寿命は延び、結果、高齢化を後押ししている現状を踏ま

えれば、社会保障費の増加は避けて通れません。老を敬い人生の節目を祝う事は日本人としての誇りです。しかし、節目に依らない全ての高齢者に対する社会保障の確保もまた重要です。本改正案は、継続的・安定的な社会保障財源の確保策であり、行政執行部の英断と評価できます。祝い金の削減としてはなく、社会保障費の確保という視点から、賛成討論とします。

討

論

議員定数 2人減の「18人」に決定

次の改選時(2019年9月)から適用

富谷市議会議員定数条例の一部改正について

【定数削減理由】

市制施行後の本市の人口の推移はほぼ横ばいの状況です。しかし、全国的な生産年齢人口の減少、少子高齢化は、本市においても将来避けられないと考えられ、市は行政改革に取り組み事務事業の見直し等を進めています。議会報告会等で、市民から議員定数の削減が求められています。平成30年9月の全議員へのアンケート調査では定数減の意見が過半数でした。

全国および県内の同規模自治体の人口等を鑑みれば、富谷市議会の議員定数の削減は可能であると考えます。

議員は、市民の負託に応えられるよう、資質、審議能力の向上のため日々研鑽に努めることが肝要であり、責務です。富谷市議会としても、率先して議会改革に身を投じ、議決責任を果たすべく、そして市民の福祉向上に邁進することを改めて確認し、定数「20人」を「18人」に改正するものです。

【定数削減への経緯】

- 平成26年3月
 - 議会報告会で、町民から定数削減が求められた。
- 平成26年11月
 - 町民から、定数削減の陳情書が提出された。
- 平成27年1月
 - 全議員に、定数についてアンケート調査を実施。
- 平成27年8月
 - 議員全員協議会で、アンケートをもとに現状の定数「20人」で決定。
- 平成27年8月
 - 定数20人で改選。
- 平成29年3月
 - 議会報告会で、市民から定数削減が求められた。
- 平成30年9月
 - 全議員に、定数についてアンケート調査を実施。
- 平成30年10月
 - 議員全員協議会で、アンケートをもとに2人減の「18人」(案)で了承。
- 平成30年12月
 - 第4回定例会で、次の改選時から、議員定数を2人減の「18人」とする定数条例の改正が可決。

【議員定数における他市との比較】

◎宮城県内の合併によらない単独市制施行の同規模の市と比較

宮城県内 富谷市と同規模の市	人口	定数	議員1人あたりの人口
名取市	78,459人	21人(平成24年適用)	3,736人
多賀城市	62,474人	18人(平成23年適用)	3,471人
塩竈市	54,873人	18人(平成23年適用)	3,049人
岩沼市	44,221人	18人(平成23年適用)	2,457人
富谷市(現行20人)	52,640人	20人(昭和54年適用)	2,632人
富谷市(次回18人に改正)		18人(平成31年適用)	2,924人

◎全国の市で、人口5万人～6万人の77市(富谷市含まず)の定数の占有割合

77市の中で、定数何人のところが多いか。			
1番多い定数	定数18人	25市	32.5%
次に多い定数	定数20人	16市	20.8%

〈人口及び定数は、全国市議会議長会平成30年7月の調査資料から〉

議会改革が叫ばれ定数削減について市民の声が届く中で、人口規模による類似団体の状況、近隣市議会の定数等を見極め

議員定数削減は市民の声

賛成 浅野 武志 議員

ながら何人が妥当かを考える必要があります。市は、行財政改革に取り組んでいます。議会としても議員の定数削減を行い、市と一丸となり行財政改革に取り組むことが必要と考えます。

議員定数について、アンケート調査が行われ協議の結果、定数削減が提案されました。現在の20人から2人削減し18人にすることが妥当と考え、賛成します。

討

論

多様な人材に門戸の開放を

反対 藤原 峻 議員

東京財団や岡田順太教授が指摘しているように「明確な理念・思想のない」議員定数の削減は、執行部に対する監視機能を、

多様な民意のくみ取りと反映、政策創出機能を脆弱にする危険性があります。早稲田大学の議会改革調査で議会が果たすべき3つの柱は、情報共有、住民参加、議会機能強化です。本市は、政務活動費を広報費として使えない県内唯一の市です。改善すべきことは他にありません。今後も人口が増える本市の発展を支える多様な人材に門戸を開くことが重要と考えます。

第4回定例会(12/4~12/13)・第1回臨時会(1/8) 議案採決結果一覧

	議案	賛成	反対	議決結果	金子	青柳	若生	長谷川	畑山	齊藤	藤原	佐藤	浅野	西田	菅原	出川	浅野	高橋	佐藤	山路	渡邊	浅野	安住	相澤	提案者		
					透	信義	英俊	美	和晴	秀行	峻	聖子	武志	嘉博	福治	博一	直子	正俊	克彦	清一	俊一	幹雄	稔幸	榮			
第4回定例会	富谷市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除等に関する条例の制定について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	市長提案	
	職員の給与に関する条例の一部改正について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	富谷市敬老祝金等支給条例の一部改正について	17	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	富谷市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	平成30年度富谷市一般会計補正予算(第4号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	平成30年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	平成30年度富谷市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	平成30年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	平成30年度富谷市水道事業会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	富谷市道路線の認定について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	和解及び損害賠償額の決定について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	和解及び損害賠償額の決定について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—
和解及び損害賠償額の決定について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
和解及び損害賠償額の決定について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	19	0	原案同意	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
平成30年度富谷市一般会計補正予算(第5号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
富谷市議会議員定数条例の一部改正について	14	5	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	—	議員提案	
第1回臨時会	平成30年度小学校空調設備整備工事(1号)請負契約について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	市長提案	
	平成30年度小学校空調設備整備工事(2号)請負契約について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	平成30年度中学校空調設備整備工事請負契約について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	19	0	原案可決	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

○賛成 ×反対

※議長(相澤榮)は採決に加わりません。

※「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」「人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて」については、無記名投票のため各議員の賛否は把握できません。

16人の 議員が 問う

一般質問

第4回定例会では16人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を8ページから15ページまで発言順に掲載しています。

一般質問の様子はインターネット録画配信でご覧になれます。

また、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

8P 西田 嘉博 議員 No.1

- 生活困窮者自立支援制度に関して
- スポーツ施設・設備について

8P 菅原 福治 議員 No.2

- 行政改革実施プランの進捗と次年度の重点事業内容および主な見直し事業について
- 認知症初期集中支援チームについて

9P 山路 清一 議員 No.3

- 若生裕俊市長再選等を問う
- 富谷市土砂災害警戒区域を問う

9P 渡邊 俊一 議員 No.4

- 次回仙塩広域都市計画の用途地域変更に向けた取り組みについて
- 団地内の町内会館の新築、建て替え工事について

10P 浅野 直子 議員 No.5

- 市制施行3年目の政策は
- 待機児童への対応について

10P 畑山 和晴 議員 No.6

- ユネスコスクールについて
- しんまち通り活性化について

11P 金子 透 議員 No.7

- 高齢者、障がい者外出支援乗車証(とみぱす)を問う
- 側溝整備事業を問う

11P 青柳 信義 議員 No.8

- 市長の公約実現と市財政運営について問う
- 放課後児童クラブ登録定員制及び運営業務費について

12P 出川 博一 議員 No.9

- 来年度の予算編成方針は
- TOMI+ (愛称)の今後は

12P 浅野 武志 議員 No.10

- イノシシの被害対策と捕獲について
- 耕作放棄地・遊休農地の復元について

13P 若生 英俊 議員 No.11

- 富谷市の学力テスト結果の評価と学力向上の具体的な取り組みを問う
- 「(仮称)富谷市民図書館」の整備概要を問う
- 学校給食の栄養量不足の改善を

13P 佐藤 聖子 議員 No.12

- 放課後等デイサービス事業の存続を図るための対応は
- 学校給食の栄養基準不足改善は市の責任で対処すべきでは

14P 安住 稔幸 議員 No.13

- 市民協働のまちづくりについて
- ユニセフ子どもにやさしいまちづくりについて
- ユネスコスクールについて

14P 長谷川 る美 議員 No.14

- とみや市政懇談会について

15P 高橋 正俊 議員 No.15

- 小型無人機・ドローンの必要性は
- 富谷市内の通学路に危険箇所はあるのか

15P 藤原 峻 議員 No.16

- 図書館建設を問う
- 公共交通を問う
- 生涯学習、市民協働などまちづくりを問う

※このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、8ページからの要約した見出しと異なる場合があります。

問 スポーツ施設・設備の整備拡充は

答 シェルター設置は補正予算に計上

富谷市教育振興基本計

画に、生涯スポーツの推進・生涯スポーツを支える体制・環境の充実があり、スポーツ拠点施設の充実として、スポーツ施設・設備の計画的な整備の拡充があります。

問 富ヶ丘公民館みんなの広場についての来夏の熱中症対策は。

答 年代を問わず、多くの皆さんに利用いただいているものと認識しています。



▲ シェルター (イメージ)

なお、熱中症対策とな

るシェルターの設置については、以前からも要望をいただいております。その必要性も高いことから来年度2月の補正予算に計上します。

問 設置に当たり、どのようなものを考えていますか。

答 屋根の大きさは約3m四方で、その中にテーブルが常設、8人が腰をかけられるベンチの設置を考えています。

問 生活困窮者自立支援制度は

答 早期自立に向けた支援に努める

生活困窮者の定義は、

「現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者」と定められています。

問 生活困窮者自立支援制度の改正前の本市としての取り組みは。

答 富谷市自立相談支援センターにおいて取り組んでいます。



西田 嘉博 議員

問 富ヶ丘公民館大ホール暗幕開閉の危険防止と電動化の対策と方向性は。

答 暗幕の開閉は、平日の日は職員対応による開閉を行うことにしています。職員不在となる休日の当面の対応として、前日の夕方から暗幕を閉めた状態にし、休日には開閉操作することなくそのまま使用していただくことを考えています。

問 行政改革の進捗と成果確認は

答 計画通りで年度末に評価検証

本市は、税収確保と歳

出削減に取り組んでおり、3年間で約7億円の捻出を見込んでいます。関連した実施内容を問います。

問 今後、見直しを検討している事業は。

答 ①住民健診や高齢者生活支援に係る給食サービスなど、負担額の見直しを進めています。

②敬老祝いの見直しを、社会情勢や近隣自治体の状況、市内各団体の理解を得ながら実施します。

③学校給食センターの民間委託について問います。



菅原 福治 議員

問委託について、現在調査を進めています。

問 パークゴルフ場の建設は、市民要望の規模と

は全く違うと思います。財政的な部分を勘案し、公営墓地とセットで進め複合施設としました。

問 認知症の人も安心できる支援を

答 支援チームがある安心感を周知

7年後には団塊の世代全員が75歳以上に達します。伴い要介護者、認知症対象者が増えることから、認知症になっても大丈夫と言われるように、認知症支援チームの周知徹底について問います。

問 支援相談のきつかけと、受け入れの相談は家族、住民、民生委員等、誰からでも相談が出来ますか。

答 そのとおりです。受け入れは、社会生活や身体、医療等、多面から判断します。

問 重症化の人や、6カ月間では足りない人への対応はどのようにしますか。

答 家族と相談のうえ、介護サービスなどを含め総合的に検討します。

問 マンパワーおよびチームを増やす計画は。

答 重点的に推進員の研修と、サポート員の追加措置を検討します。

問 支援チームの、市民への周知について問う。

答 支援チームがあることと安心感を市民に説明し、普及を図ります。



▲ 地域包括支援センターさくら

問 若生裕俊市長再選等を問う

答 総合計画等実現のため立候補する

問 特に強調したい達成した公約は。

答 子ども医療費を18歳まで拡大、乳幼児育児補助金の対象年齢の拡大、小学校敷地内への児童クラブの設置、待機児童ゼロを実現、敬老乗車証「とみぱす」の導入、図

書館と公営墓地の整備基本計画の作成、富谷市の将来を見据えた公共交通

グランドデザイン策定に向け取り組んでいることなどです。

問 4年間の実績に対し、市長自らの達成度は。

答 達成度は非常に高い

問 富谷市土砂災害警戒区域を問う

答 県で今年度市内4箇所を現地調査

7月24日付、宮城県仙台土木事務所所長名で日

吉台一丁目関係住民宅に、土砂災害防止法に基づく

現地調査の配布があり、関連する課題を問います。

問 市内の土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域の指定箇所は。

答 平成29年末のデータでは、48箇所と46箇所です。

問 他に同様の配布は。

答 石積地区、三ノ関地



山路 清一 議員

ものと捉えています。

問 次期市長選へ立候補する決意は。

答 「住みたくなくなるまじ日本一」に向け、市制施行後に策定した総合計画と、行財政改革基本方針を実現するために立候補します。

区、穀田地区が今年度対象で配布されました。

問 宮城県担当部署と、配布物の事前協議はしていますか。

答 配布物についての事前協議は宮城県から受けていませんが、来年度以降は市民の皆さんからの問い合わせに対応できるよう、県に資料の提供を依頼することにしました。

問 全天候型の遊び場の整備は

答 民間活力も含め検討を進めます

次回の都市計画変更に向けた検討が重要な課題と捉え、計画を進める必要性があると考えます。

大清水北側からあけの平東側、そして、とちの木までの間の開発を進め、さらなる市の発展に結びつけることが大事であると考えます。この地域には約60haの県有林があり、

県との協議が必要で、本市は、人口比率に占める割合が県内屈指の子供の多い自治体であることから、県と協議し、子育

て支援と多世代交流複合施設を兼ねた白石市の

「こじゅうろうキッズランド」のような全天候型の遊具を備えた遊び場を整備し、安心で、安全な

子育て環境を進めることが必要であると考えます。それらの開発に伴い都市計画道路の大沢穀田線の延伸が図られること

になり、本市のさらなる発展につながるものと考え、次の質問をします。

問 本市のさらなる発展のため、次回の都市計画の見直しに向けた検討をどのように進めていくか

問います。

答 大清水北部、あけの平東部地区の開発については、ご意見を踏まえ、

あらゆるプロジェクトを県と連携しながら進めています。

問 県有林の有効利用として白石市の「こじゅうろうキッズランド」のような全天候型の遊具を備えた遊び場などの施設整備を進める考えはありますか。

答 民間活力を生かして、全天候型の子供の遊び場を検討しています。



渡邊 俊一 議員



▲ こじゅうろうキッズランド (白石市)

その他の問

問 とちの木会館の新築、改築は

答 必要性について認識しています

問 総合計画の施策は

答 着実に遂行されています

市制施行3年目の施策をどのように進め、住みたくなるまち日本一を目指す施策は、市民目線で進められていますか。

また、国連で採択された持続可能な開発目標SDGsの理念は、誰ひとり取り残さないと掲げていますが、本市の総合計画に反映されていますか。

問 総合計画の6つの基本理念は遂行されていますか。

答 着実に遂行されています。



問 交流プラザに民俗ギャラリーもあり、市民の交流の場、使い勝手の良さについての考えは。

答 フリースペースもありますので、最大限活用できるような取り組みも考えていきます。

問 来年度のエアコン設置事業以外の重点施策は。

答 現時点で①富谷小学校放課後児童クラブの新築②とみや国際スイーツ博覧会の開催とブランド力の強化③街道まつりの充実④水素フォーラムの実施⑤市道穀田三ノ関線整備事業などがあります

問 待機児童への対応は

答 保育士の人材確保に努めます

問 市の方針は。

答 3歳児の受け入れが拡充されます。

施設面の増築により、

3歳児の受け入れが拡充されます。



浅野 直子 議員

きるよう調整をしていきます。

問 SDGsの官民一体の啓発は。

答 機会を捉えた上で、理念や目標を市民、民間事業者、NPOなどの関係機関の方と共有を図りたいと考えています。

問 2020年は、オリンピックもあり、本市の開宿400年の記念事業も偶然とは言えないので、記念切手やはがき、硬貨など、インバウンドの発信についての考えは。

答 市民の意見を聞いて検討を重ねたいです。

問 ユネスコスクールについて

答 ESD活動の充実を図ります

11月27日にユネスコスクール加盟認定証授与式が行われました。これで富谷市の幼稚園、小学校、中学校が全て加盟したことになります。子どもたちがグローバルに育つ環境がまた一つ大きくなりました。

ユネスコスクールのホームページには、「持続可能な開発のための教育(ESD)は、私たちとその子孫たちが、この地球で生きていくことを困難にするような問題に

ついて考え、立ち向かい、解決するための学びで、ESDは持続可能な社会の担い手を育む教育です。」と掲載されています。

各学校がこれをどのように取り組み反映させていくのか質問します。

問 加盟したことで得られる効果は。

答 国内外のネットワークが構築され、ESD活動のさらなる充実が図られる。

問 しんまち通り活性化について

答 TOMI+を拠点に展開します

問 新興住宅地の方に足を運んでもらう仕掛けは。

答 工夫を凝らした運営に努めます。

問 富谷塾生に企画を頼んで。

答 富谷塾生の企画への

れます。

問 今までのESDにプラスされることは。

答 国内外の加盟校と情報交換や交流学习を行い、活動がより深まります。

問 地域との連携は。

答 地域の人材の活用や、団体、組織との協働を進めていく必要はあります。

問 ESDの発表の場は。

答 各校の実践状況を見て検討します。

参画、民間の参画など多角的に取り組みます。

問 さまざまな催しが開催されますが、職員が負担を考えて集約しては。

答 検証し、集約可能なものを議論します。



畑山 和晴 議員

問 デマンドタクシー導入の検討は

答 公共交通の全体を調査研究中です

高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみばす」は10月1日現在、対象者7301人に対して交付者2476人で交付率は34%です。申請されない方は4825人で66%です。その中には外出して数百メートルの歩行に不安を感じ、申請しない人はかなりの人数がいると考えます。

問 なぜ申請しないのかなどの実態把握は。

答 地区ごとの申請率が0%から55%と地区によ

り格差がある状況です。

必要ないのか使える基盤整備ができていないのかの調査は必要と思いつつ、検証までは至っていません。

問 デマンドタクシー導入の検討は。

答 今年10月1日から運用を開始し現在75人が利用しています。障がい程度の拡充を求める要望もありませんが、事業啓発により交付率の向上を優先し、多方面からの意見を参考に事業内容のあり方など調査研究を進めます。

問 側溝整備事業の今後の計画は

答 継続事業として取り組めます

日常生活の安心・安全に関する事業であり、危険度なども考慮し優先順位を設け推進すべきです。

問 急勾配で道路幅が広い場所は、ガードレール等で安全を確保しては。

答 とちの木地区で未整備の場所を確認したところ、高低差が大きいので安全対策として防護柵などの対応を考えます。



金子 透 議員

公共交通グランドデザイン関連施策において調査研究に取り組んでいます。

問 タクシー券補助事業の拡大の検討は。

答 本年10月1日から運用を開始し現在75人が利用しています。障がい程度の拡充を求める要望もありませんが、事業啓発により交付率の向上を優先し、多方面からの意見を参考に事業内容のあり方など調査研究を進めます。

問 市長公約実現の市財政のあり方は

答 限られた財源で着実に進めます

市長の課題として残された公約としては、富谷市と仙台市地下鉄泉中央駅をつなぐ交通のアクセス問題の解決、道の駅「スイーツの駅」の整備、(仮称)新富谷市民図書館整備、パークゴルフ場と公営墓地の一体整備事業である(仮称)やすらぎパークとみや整備基本計画の実現が挙げられます。

問 これまでの取り組みの進捗状況と課題は。

答 泉中央駅へのアクセス改善は最重要課題として取り組めます。スイーツの駅整備は、スイーツステーション基本構想を年度内に策定します。

問 図書館整備は、市内小・中学校のエアコン整備計画の実現が挙げられます。

答 これらの残された課題の実現についての問題は財源の確保が重要です。



青柳 信義 議員

備優先のため開館を平成34年度に一年延期します。

やすらぎパークとみやは平成35年度に供給開始を目指し進めています。

問 公約実現のため事業の縮小、財源の確保などは考えていますか。

答 行政改革に取り組み、歳出削減と歳入確保の両面で改革を進めています。

問 児童クラブ待機児童への対応策は

答 個々の家庭事情に勘案し進めます

平成31年度「とみや児童クラブ」の登録定員について質問します。

問 入会案内に「職員不足等により、定員を満たさなくても登録を停止する場合があります」とありますが、予測される児童クラブはありますか。

答 現時点で職員不足が理由で登録停止の児童クラブはありません。

問 定員オーバーとなつた場合の解決策は。

答 夏休みなど長期休暇に入会希望者の増加が想定されますが、学校の空き教室を利用してのサテライトなども検討します。



富谷市



▲ デマンドタクシー (大和町)

問 来年度の予算編成方針はいかに

答 当初予算の提案にあわせ示したい

今議会の市長答弁で、来年度の事業計画として、放課後児童クラブの新設、国際スイツ博覧会の開催、街道まつりの開催、水素フォーラムの開催、市道穀田三ノ関線道路改良事業の実施が表明されました。来年度の予算編成方針を質問します。

問 歳入増加策は。

答 ホームページのバナー広告貸し付け、ふるさと納税の充実、基金の効果的な運用を予定しています。また、企業版ふ



▲ 富谷宿「街道まつり」

るさと納税やクラウドファンディングといった外部資金の活用にも努めます。

問 新公共交通システム推進事業の今後は。

答 今年度は国土交通省の街路交通調査費補助金を活用し、富谷市公共交通通グランドデザインの策定業務を進めており、来年度以降実現に向けた施策の展開を図ります。公約にも掲げましたので、地下鉄延伸を含めての交通アクセスの問題は、最重要課題として就任以来取り組んでいます。

事業化を実現するためには、国・県、特に仙台市の協力なくして、実現できません。実際に交通問題を進めていく上では、調査を積み重ね時間をかけなければならない部分があるというのも正直な



出川 博一 議員

ところです。

問 とみや国際スイツ博覧会と街道まつりの回遊性(同時開催)の検討は。

答 両事業は10月同月での開催となり、開催日時が近いことや、従事する職員も多いことから、同日開催ができないか検討しました。

開催趣旨や目的、会場等の関係から、一概に集約することは難しく、同時実施はできませんでした。

来年度の事業計画において、議員の提案もあることから、各イベントの費用対効果や市全体のイベントなどを総合的に勘案し、集約が可能かどうか検討していきます。

問 イノシシの被害対策と捕獲は

答 ワイヤーマッシュ設置の計画です

農家の方々と会うと会話で出てくる話は、イノシシの被害と駆除についてです。中には来年から米を作らないと話している農家の人もいます。

問 有害鳥獣捕獲隊員は、一生懸命捕獲に取り組んでいます。わなを仕掛けてもイノシシは賢くて警戒心が強く捕獲が進まない状況です。農作物への被害・被害面積・被害地区も拡大し、早急な対策が必要と考えます。



▲ くくりわな

問 平成31年度以降のワイヤーマッシュの設置計画は。

答 明石地区の予定で、現在は石積地区で協議中です。今後は、未設置地域で説明会を開催し、協力が得られれば進めます。

問 有害鳥獣捕獲隊員を増やす計画は。

答 今後検討します。

問 耕作放棄地、遊休農地の復旧は

答 特産品(新果樹)の定着推進です

耕作放棄地、遊休農地を田畑として復元して農作物をつくることにより、所得の向上と自然環境を守ることができます。

問 耕作放棄地、遊休農地の発生防止策は。

答 農業委員、農地利用最適化推進委員が市内を巡回し、発生した時は所有者に指導をしています。

問 先進地視察研修会の支援、集積面積に対して補助金の支援、経営所得安定対策による助成金の支援をしています。



浅野 武志 議員

答 2人増の予定です。

問 3地区や2地区毎に捕獲隊を設けては。

答 有害鳥獣捕獲隊員等と検討します。

問 農政協力員等で協議会を作り定期的に会合を開いては。

答 今後検討します。

問 小学校の学力向上策を問う

答 授業改善に取り組みます

平成30年全国学力テストの本市の小学校平均正答率が、全国平均および仙台市平均を5科目(国語A・B、算数A・B、理科)全てで下回りました。

なお、平成29年は、全科目が全国および仙台市の水準を上回る結果でした。

学力の定着、学力向上に取り組んでいくことが保護者の願いです。

また、本市の小中学生の学力が常に全国水準や

平均正答率(富谷市と全国)									
【小学校(4年生)】					【中学校(2年生)】				
国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
富谷市	68	65	63	62	69	66	65	63	62
全国	70	68	66	65	70	68	66	65	64

▲全国学力・学習状況調査(富谷市HPより)

仙台市を超える取り組みと結果を示すことが富谷市に人を呼び、本市の魅力にもつながるものと思

います。

学力向上の今後の取り組みを求め、質問します。

問 低下した主な要因は。

答 低下した認識はありません。毎年、調査問題や対象の児童生徒が異なるため、結果は変動します。

問 学力向上の取り組みは。

答 学び合いの授業を全小中学校で展開します。

問 図書館はセンター館整備の充実を

答 センター館に特化せず整備します

(仮称)富谷市民図書館整備基本計画案に示された内容では検討が十分です。

センター館および分館5館合わせて6館の図書館では、コストが過重にならないか懸念されます。

将来コストの削減の面からも再検討が必要です。

図書館整備有識者会議を設置し、本市にふさわしい市民図書館の適正規



若生 英俊 議員

模と市民図書館に期待される機能について諮問し、

答申を得る手続きが必要です。

問 基本計画を検討する図書館整備有識者会議を設置する考えは。

答 市全体でのデザイン会議の開催を予定しているほか、パブリックコメントを実施し、基本計画の確定までの間、広く市民の意見を聴取します。

問 値上げによらず給食の栄養改善を

答 審議会の答申後考える

学校給食の栄養基準が未達成という記事が河北新報に掲載されました。

問 教育委員会の認識は。

答 栄養価の動向は認識していましたが、県に再確認しましたが、「基準値は望ましい目標値」です。

基準改定のたび厳しくなっています。全部食べて基準が満たされることがあり、残食を減らす方向に議論が進みました。

問題に対し過小的なとらえ方という指摘であれば謝りたいと思います。

問 給食費の値上げで解消すべきではない。市の一部負担、多子減免も検討すべきでは。

答 学校給食センター運営審議会に給食費改定の諮問をしていますので、答申後考えていきます。

答 市長会等で相談はしたい

放課後等デイサービスは、支援学校などに通学している児童生徒が放課後の支援を受けるものです。利用者の状態像を勘案した指標を設定し、報酬区分を徹底する通知を厚労省がしています。

問 指標に基づく判定はどのようにしましたか。

答 保健師が内容を精査の上で判定しました。

問 保健師一般ではなくもっと専門の人が当たるべきでは。

答 乳児健診から成長過程を追っています。さら

に専門医の意見書利用の人もあり十分精査できていると認識しています。

問 事業者が減収になっていると聞きますが、経営状況把握は。

答 経営内容まで話したことはありませんが、情報の提供などやりとりしたいと思います。

問 市はどう臨みますか。

答 市長会等で相談はしていきたいと考えています。

問 市長会等で相談はしたいと考えています。

答 市長会等で相談はしたいと考えています。

問 市長会等で相談はしたいと考えています。



佐藤 聖子 議員



問 市民協働のまちづくりを問う

答 平成32年度まちづくりルール策定

本市の新たなまちづくり、市民協働のまちづくりが期待されています。

市民との情報の共有、市民とともに施策を進めていくべきと考えます。

市民と協働のまちづくりにはルールづくりが重要です。まちづくり基本条例を制定し、そして、市民参加に当たつてのルールづくりも重要です。本市はどのように進めるか質問します。

問 市民協働のまちづくりへの進捗状況は。



答 平成31年1月に市民を対象とした市民協働セミナーの開催など、協働の共通理解と気運醸成に努め、平成32年度に向けた協働のまちづくりの基

本となるルール策定を推進したいと考えています。

問 市民参加条例の制定

は。

答 調査研究を進め、今後のルールづくりの参考にしたかと考えています。

問 ユネスコスクール他校との交流は

答 国内外の交流を進めていきます

ユネスコスクールへの取り組みを質問します。

問 国内外の他校との交流の実施は。

答 国内外の他校とのネットワークの構築が図られるので、交流を進め

たいと思います。

問 子どもにやさしいまちへの実践は

その他の問

答 庁内横断的に実現を目指します

実践は



安住 稔幸 議員

問 市政懇談会について

答 今後制度化し毎年開催します

懇談会の声を市政にどう反映するか質問します。

問 開催の目的は。

答 政策や行財政運営の報告と、市民の意向の的確な把握を行いよりよい市政運営を図ることです。

問 4会場のみでの開催の理由と次年度のスケジュールは。

答 地区を限定せず、どの会場でも参加できる形とし、来年度3会場で同時期の開催予定です。

問 目標の参加人数は。

答 より多くの人です。



問 場所について会館での検討はありましたか。

答 基本的には各公民館と西成田コミュニティセンターです。

問 お子さん連れでも安心して参加できる工夫は。

答 今後の課題とします。

問 「とみここ」での開催の予定などは。

答 懇談会の枠組みの中で開催するのが適当か検討します。

問 岐阜県中津川市では市政懇談会の他に、女性・高齢者・若者対象の懇談会を開催しています。本市での取り組みは。

答 若い方への周知に努めます。

問 懇談会で一年前に出された質問への報告は。

答 なかったと思います。

問 市民の方が、どの様に検討されているのかという思いについては。

答 今後は極力お知らせをさせていただきます。

問 「検討する」とは報告する義務があるのでは。

答 今後その方向で努めたいと考えています。

問 近隣に多くのパークゴルフ場がある中、特色を持たせる考えは。

答 今後検討します。

問 参加者を女性に限定した懇談会の開催予定は。

答 今後検討します。

問 富ヶ丘地区の測溝整備に関する市からの具体的なお知らせは。

答 町内会と協議の上、方法は決めていきます。

問 しんまち地区の町並み保存に対する市民と行政の考えの一致は。

答 今後の検討課題です。



長谷川る美 議員

問 小型無人機・ドローンの必要性は

答 今後大きくなると思います

近年は、全国各地で異常な気象状況であると思
います。夏の猛暑や集中
豪雨、地震、台風などさ
まざまな災害が起き、大
きな被害が出たことは記
憶に新しいと思います。

身近なところで災害が
起きた場合に、今どのよ
うな被害状況なのか、迅
速に正しい情報を収集し、
発信することが市民の皆
さんの不安を取り除き、
早期解決、二次被害防止
につながるのではないか
と思います。今、全国で



▲ドローン (イメージ)

もドローンを取り入れて
いる自治体も増えており、
仙台市宮城野区の町内会
では、防火防災訓練で大
雨や津波、河川の氾濫や
火事の際にドローンを
使っていち早く状況を確
認するという訓練が行わ
れました。実際にドロー
ンで上空から撮影した映
像を見て、効果を検証し
たという例もあります。

今後、本市においても
災害時のみならず、工事
現場の調査、農業支援な
ど多分野で需要があると
考え次の質問をします。

問 今後、被害状況を迅
速に正しく把握するため



高橋 正俊 議員

にも、ドローンの必要性
があると思いますが、考
えを問います。

答 ドローンは災害時に
上空から動画を撮影でき、
リアルタイムで把握でき
る有効な手段の一つであ
ると認識しています。

他の自治体で災害現場
の情報収集や避難の呼び
かけ、医療品の運搬、観
光PRなど、さまざまな
分野で活用されているこ
とも承知しており、その
必要性は今後大きくなる
と思います。

その他の問

問 通学路の安全対策は

答 実態を把握し対応していきます

問 人口増にふさわしい図書館建設か

答 将来的な財政負担も考慮します

問 とみこは1年間で
約1万人が利用、建設費
4億5000万円。とみ
ぶらは5カ月で6000
人、3億6000万円。
紫波町は人口約3万人で
図書館は年20万人利用。

瀬戸内市は、人口約3万
7000人で図書館は年
20万人。大崎市は人口13
万人で10カ月で30万人利
用。来館者数の試算は。

答 具体的にはまだ公表
できません。
問 富谷でも20万人程度
の来館者があるとすれば、



▲大崎市図書館

自主財源が5億円は少な
過ぎるのでは。紫波町、
瀬戸内市も約10億円です。
最低で10億円の自主財源
が必要では。

答 将来的な財政負担等
も考えた結果です。

問 3億円が外部資金で
すが、集まらない場合は
規模は縮小ですか。

答 資金に満たない場合
は弾力的に計画変更しま
す。

問 3万人台の自治体で
も最近開設された図書館
の最低ラインが2400
冊で20万冊という状況で
す。富谷市は今後も人口
が増えますが、冊数20万
冊、1700冊は小さ過ぎ
るのでは。

答 791市の中で一番
予算規模が小さいのが富
谷市です。他の公共施設
の整備や財政圧迫をして
はいけないと考えている

ためです。



藤原 峻 議員

問 司書の公募、試験、
面接、小論文など、選考
委員会の検討は。

答 年明けには募集要項
を出して募集を行います。
図書の特設家を入れるか
は今後検討します。

問 学習スペースは休館
日にも使えますか。

答 ニーズが高いと認識
しており、今後のサービ
スで検討したいと思いま
す。

問 カフェの設置に関し
て、障がい者就労支援施
設の誘致は。

答 その考え方も含め検
討していきます。

問 勤労者向けの貸出
ボックスの検討は。

答 今後検討したいと考
えています。

よりよいまちづくりのために

調査しました

(10月～12月実施)

委員会活動

魅力あるシティセールス

調査先：千葉県四街道市
経営企画部 シティセールス推進課

◎調査日 10月18日
四街道シティセールス戦略は、「市内外の人の関心を高め、市の認知度の向上を図るために、市の魅力を効果的に発信するとともに、新たな魅力の創出にも積極的に取り組んでいく活動」としています。

民間からの任期付職員を起用し、民間の発想でSNSの活用、プレスリリース、YouTubeを使い内容を熟考した上で積極的に発信しアピールを進めています。



〈その他の調査先〉

◎調査日 10月19日
千葉県我孫子市 市民活動支援課
「地域コミュニティ活性化基本方針」

健全な財政運営に関する条例

調査先：埼玉県富士見市
企画制作部 財政課

◎調査日 10月17日
富士見市の「健全な財政運営に向けた条例の制定」の背景には、増大する扶助費への対応で、平成10年度約28億円が、平成23年度には約77億円と増大。更に小・中学校校舎、体育館の大規模改修、公民館、健康増進センター、老人福祉センターの耐震補強工事や、市民ニーズに対応した新たな事業などにより財政確保が難しい局面に立たされた経緯がありました。

弾力的かつ持続可能な財政基盤の整備、財源の確保のため、市民・議会・市が財政運営上のルールの共通認識を持つための健全な財政運営に向けた情報公開を行いました。

本市では本年度より3カ年計画で行政改革を実施していますが、市民サービスの低下をすることなく、職員一人ひとりの財政運営に対する意識改革による健全な財政運営を期待します。



総務常任委員会

※市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

※教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

幼保連携型認定こども園 について

調査先：とみや杜の橋こども園

◎調査日 10月22日

本市初となる認定こども園は、保護者の就労に問わず、0歳から就学前までの子どもを預かり、教育と保育を一体的に行ないます。

背景には、共働き世帯の増加、働き方の多様化、幼稚園の時間制約や、保護者の就労が保育所入所の要件になってきていること等、改善を求める声があ



りました。

説明では、0歳児から年長児まで一緒に過ごし、保育児・幼稚園児同様の場となっており、クラス編成やカリキュラムにおいても、幼保同じ教室で進め、交流の機会などもたくさんあり、子どもの成長には大きなメリットとなっています。完全給食を実施し、アレルギー

にも対応しており、さらには幼児教育の原点でもある、音感教育にも力を入れています。課題は、保育士など人材確保が難しくなっていることから、今後、市としては待機児童ゼロの継続のためにも保育士等の確保においてはさまざまな面からの対応が求められます。

※経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

鳥獣被害防止対策事業 について

調査先：白石市
市民経済部 農林課

◎調査日 10月24日

白石市が鳥獣被害防止対策事業に取り組んだのは、福島原発事故の放射能汚染により、増えたイノシシの農作物等の被害防止策のためです。

平成24年より鳥獣被害対策実施隊を設置し、イノシシの捕獲駆除に取り組み、平成28年には15

95頭が処分されました。実施隊に対し、1頭1万5000円（国からの補助金8000円）、解体するとプラス5000円支払われます。

箱わな180基、くくりわな80基を設置しましたが、捕獲のほとんどは箱わなです。

現在は隊員が79人、高齢化しており、若い隊員の養成が課題とのことです。本市もイノシシによる被害が増加しており、鳥獣被害防止対策実施隊の養成、解体場施設の新設など国、県、近隣市町村が一体となり早急な対応策が必要です。



議員全員協議会を開催しました

10月2日

【協議事項】

- ①議員定数について
- ②議会報告会について

11月27日

【協議事項】

- (1)議案の委員会付託について
- (2)提出予定議案に関するもの

- ①富谷市地方活力向上地域における課税免除等に関する条例の制定について
- ②富谷市敬老祝金等支給条例の一部改正について
- ③富谷市地区計画域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について
- ④平成30年度富谷市一般会計補正予算(第4号)
- ⑤平成30年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- ⑥平成30年度富谷市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- ⑦平成30年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- ⑧平成30年度富谷市水道事業会計補正予算(第3号)
- ⑨教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

(3)(2)以外で説明を要する案件

- ①富谷市公共交通ランドデザイン(案)について
- ②ひより台等未利用地の売却について
- ③富谷市男女共同参画基本計画素案について
- ④(仮称)やすらぎパークとみや基本計画について
- ⑤富谷市空家等対策計画(案)について
- ⑥今後の粗大ごみ処理業務について
- ⑦(仮称)富谷市民図書館整備基本計画(案)について

12月4日

【協議事項】

- ①議案の委員会付託について

12月28日

【協議事項】

- ①人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

議会活性化 調査特別 委員会

平成30年10月9日

- ①議員の政治倫理条例の制定について

- ②災害時緊急議員行動マニュアル作成について

平成30年10月25日

- ①議員の政治倫理条例の制定について

- ②災害時緊急議員行動マニュアル作成について

- ③議会広報調査特別委員会のあり方について

- ④常任委員会のあり方について

平成30年11月1日～2日

- ・調査先 山形県 米沢市
福島県 会津若松市
- ①議会運営および議会改革について

- ②災害時緊急議員行動マニュアルの作成について

平成30年11月27日

- ①議員の政治倫理条例の制定について

- ②災害時緊急議員行動マニュアルの作成について

- ③議会報告会について

- ④議会だよりの発行について

開かれた議会を目指し 議会報告会を 開催します

日時：平成31年3月23日(土)
14時～16時

会場：富谷中央公民館

◆皆様のご参加をお待ちしています。

文化の日表彰



平成30年文化の日表彰において、宮城県知事より富谷市議会議員、元議長の渡邊俊一氏が表彰されました。

多年にわたる議員活動を通じて、地方自治の確立と住民福祉の向上に尽力したことが認められたものです。

人事

教育委員に

ながぬまようこ
長沼陽子さん

新任

教育委員の任期満了に伴い、市長より同意を求められ、これを全会一致で可決しました。任期は3年間です。

人権擁護委員に

ふくいくみこ
福井公美子さん

新任

人権擁護委員の任期満了に伴い、市長より推薦され、全会一致で可決しました。任期は3年間です。

陳情書

- 「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について
宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修
- 「看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について
宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修
- 「介護従事者の勤務環境及び処遇改善を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について
宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修
- 「介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について
宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修
- 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書の提出について
宮城県春闘共闘会議 代表幹事 高橋正行
- 「被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
東日本大震災復興・復興支援みやぎ県民センター 網島不二雄
宮城県対連・東日本大震災共同支援センター 鈴木 新
- 日本政府へ「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」提出に関する陳情書
宮城県原爆被害者の会ヒバクシャ国際署名連絡会宮城代表 木村緋紗子
- 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書
仙台民主商工会 会長 三戸部高一
すべて議員配布となりました。

請願と陳情の提出方法

市民のみなさんは、市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

●請願書

請願書を提出する場合は市の議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は請願者に通知されます。また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関はか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることになります。

●陳情書

陳情書を提出する場合は市の議員の紹介はいりません。陳情書には法的な効力が無いため、議員に配布されますが議長の判断により、所管事項に該当する委員会へ送付して審査するか決定します。本会議へ報告された後、関係機関に意見を付して処理を要請します。また、審査結果を陳情者に通知します。

●請願書・陳情書の提出

1. 文章で提出し、邦文をつかいます。
 2. 表紙に請願書（「陳情書」も同じ記入方法です。）と明記し、提出年月日、請願者（法人の場合は代表者）の住所、氏名を記載し、押印します。
 3. 請願内容を示す表題を付け、請願事項の簡潔明瞭な要旨と請願の理由を記載します。
 4. 請願書の場合は、紹介議員の署名、または記名押印が必要です。
- ※内容については、明確また簡潔に記載してください。

請願書・陳情書の書式例は富谷市議会HPをご覧ください。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は2月下旬開会予定です。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。 TEL 358-0622

富谷市議会のインターネット録画配信をしています

富谷市議会録画配信URL

<http://www.tomiya-city.stream.jfit.co.jp/>

富谷市議会インターネット

検索



成田小学校では、たてわり班による「あおぞらタイム」や秋の「成小まつり」での遊びによって、異学年間の交流を深めています。成小まつりは、おもちゃを作る「ものづくりコーナー」で遊ぶお祭りです。今年度は「われないシャボン玉」、「ビリビリメガホン」、さらに公民館の皆さんによる「サシエ作り」など、13コーナーで遊びました。遊びに行く



ときは、上学年と下学年がペアになります。高学年が中心となって作り方を教え合い、下学年の子も受付や材料渡しなど各コーナーで係の仕事を頑張りました。

成田小では、子どもたち同士の学び合いによる学習を進めています。友達の話を傾ける姿や、相手の様子を見ながら作業を手伝う姿、学年を越えて会話をしながら楽しむ姿が多く見られました。今後、多くの友達や地域の方々との交流によって、豊かな心を育てていきます。

< 今月の表紙 >

毘沙門堂

毘沙門は、帝釈天のもと四天王のひとつとして財宝富貴をつかさどり、仏法護持に努めるとされています。とても趣きのある雰囲気があります。

編集後記

平成最後の年明けになります。地球温暖化のせいか、12月に雪ではなく雨がふる日が多くありました。富谷市の全ての学校がユネスコスクールに登録し、世界的なネットワークへのアクセスマ、ESD、SDGsを設定

し進められます。

エネルギー、環境、食、貧困など世界的な問題が多く存在する中で、持続可能な社会を目指し、誰も取り残されないように、立場を超えて取り組む必要があります。子ども達により良い未来を残していきたいものですね。

議会広報委員 藤原 峻

みんなの広場

奉仕する音楽人生

たかはし いすみ
高橋 泉さん(大清水)

シンセサイザー&ジャズピアノ奏者として活動しており、中学校の音楽教員を経て、富谷市大清水でピアノ教室を運営しています。富谷町の町民歌の編曲や南三陸町の時報の作曲を手掛けるなど、幅広く活動中です。



ピアノ教室では、「自分のできる音楽で人の喜ぶ事をする」をモットーに、クラシックのみならず、ジャズやシンセサイザー演奏、作編曲技法、パソコン・iPadを用いた楽曲制作など、最先端のニーズも取り入れています。関西系の明るいノリで、生徒ひとりひとりの個性と向き合い、感受性豊かなアーティストへと育てるべく、日々奮闘中です。定期演奏会以外にも、定禅寺ストリートジャズフェスティバルや県内の音楽イベントに積極的に参加しています。